

# 11月の園だより

2020年10月23日  
名古屋柳城短期大学附属豊田幼稚園

運動会の興奮から早20日ほど。今回、多くのみなさんから温かいメッセージをいただきました。特に「ありがとう」など感謝の言葉が多く、大変うれしい気持ちになりました。また、こうしたらもっとよくなる、というような提言をたくさんいただきました。多くの方の気づきが次の改善につながります。ありがとうございました。今後ともよろしく願いいたします。



朝夕の寒暖差が激しく、衣服の調節が難しいところです。経験のある大人と違って、子どもたちは、自分で判断したり、言葉を発して訴えたりすることがまだまだできません。ぜひ、心の声を聞いてみてください。

11月の主題聖句は「わたしがあなたを愛したように、互いに愛し合いなさい」です。ちょうど「心を聴く」というテーマの文章を見つけたので紹介します。

愛するとは、自分の良いと思うことを相手に押し付けることではなく、相手の立場に立って、相手を理解しようと努めることです。その上で、自分にできることがあればするのです。ですから、心を込めて話を聞くこと自体がすでに愛の行為です。そのことによって、人は、「自分の存在が大事にされている」と感じるからです。たとえ、問題解決の答えを得ることができなくても、「理解してもらえた、共感してもらえた」と感じた時、人は深い喜びを覚え、「心が満たされる」のです。

私は、保護者の方々によく申し上げます。「お子さんの気持ちを考えないで、自分が良いと思うことを押し付けてはいないでしょうか。親として何か言ったりやったりする前に、お子さんの心を聞いてあげてください。特に、言葉にならない心の思いを、せかさずに、聞き取ってあげてください。そして、必要であれば、こう言ってください。『そうだったの。気がつかなくてごめんね。』そういう一言が、どれだけお子さんを慰め、ホッとさせることでしょう。」

「ホッとさせる愛」が人を生かします。  
(小野慈美牧師 捜真バプテスト教会 「キリスト教保育」2020年11月号)

立場上、いろいろな方の相談をうけることがあります。多くの場合、相談者が話し、私は聞く立場でなければならないのですが、この性格ですのてついついしゃべりすぎてしまいます。話を聞くというのは、とても難しいことなのです。

聖書に「聞くのに早く、話すのに遅く」(ヤコブ1:19)という言葉があります。答えてやろう、教えてやろう、という気持ちを少し押さえて、相手の心の言葉を聴くことが重要ですが、なかなかできません。うわべの言葉を聞くだけでなく、言葉の奥にあるものを「聴き取ろう」とすることが大切ですね。これは、大人と子どもの関係だけでなく、大人同士にも言えることです。

※「聞く」と「聴く」について

引用文はそのまま使っていますが、「(音声として耳に感じるものを) 聞く」と「(聞こえる内容を理解しようと思って進んで) 聴く」を使い分けることがあります。



11月のテーマ	月のねがい	
ありがとう	0歳児	・保育者の「ありがとう」という祈りに、うれしい気持ちを重ねる。 ・様々なことに興味をもち動き出す。 ・保育者や友だちと園の生活を楽しむ。
	1・2歳児	・神さまがくださったたくさんの恵みに感謝する。 ・生活や遊びの中で、自分の気持ちや発見を表現する。 ・自分でやりたい気持ちと、うまくできずにじれる気持ちを保育者に受けとめてもらう。
感じる	3歳児	・神さまイエスさまに愛され、たくさんの恵みをいただいていることを感じる。 ・秋の自然物(木の実や落ち葉など)で遊ぶ経験をする。 ・イメージを共有しながら遊ぶ。
	4・5歳児	・神さまに与えられている一人ひとりの賜物(ギフト)が生かされて遊び、生活する。 ・遊びの継続が楽しくなり、期待や意欲をもって園生活を送る。 ・自分たちの生活が様々な人に支えられていることを知り、感謝する。
聖句	わたしがあなたがたを愛したように、互いに愛し合いなさい。(ヨハネによる福音書15章12節)	

## 11月の予定

マークの説明…T=体操

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3 祝	4 T年中・年少	5 収穫感謝祭	6 カレーパーティー (ご飯のみ持参)	7
8	9	10 T年中・年少 高橋交流会 (年長のみお弁当)	11 T年長	12 ありがとうの日 (年中)	13 ありがとうの日 (年少)	14
				個人懇談会		
15	16 やきいもパーティー	17 やきいもパーティー予備日 T年中・年少	18 T年長	19 ありがとうの日 (年長)	20 アドベント①	21
				個人懇談会		
22	23 祝	24 T年長	25 T年中・年少	26 誕生会 (11月生れ)	27 アドベント②	28
				個人懇談会		
29	30 T年長					

裏面もご覧ください

